

新郷市医師会長の紹介

北見医師会

会長 吉田 茂夫 先生



令和2年5月23日に開催された定時総会臨時理事会において、4月16日に急逝された故今野 敦前会長の後任として、吉田茂夫先生が第7代会長に就任されました。

吉田茂夫先生は、昭和24年登別市のお生まれで、昭和48年に札幌医科大学医学部をご卒業され、札幌医科大学第二内科に入局されました。その後、札幌医科大学附属病院、門別国保病院、帯広厚生病院、米国州立南アラバマ大学、札幌医科大学附属病院、北海道庁において保健福祉行政などの経緯を経て、平成20年に北見赤十字病院の院長、平成31年に北見赤十字病院の名誉院長・特別顧問に就任されました。

北見医師会では、平成20年から顧問を6期務められており、吉田新会長は、就任にあたってのご挨拶で次のようにお話をされました。

「故今野前会長は、体調不良の中にあって、医師会を取り巻く多くの課題と将来を見据えた北見医師会の方向性について、献身的に、全力を尽くして対応してくださいました。今野先生の亡くなる2日前

に『どうしてもお会いして話をしたい』とのメモが私に届けられましたので、病室にお伺いいたしました。先生は用意してあった何枚かの用紙を見ながら、北見医師会の現状の問題と将来について、よくよく考えられ、対応等が整理され課題等をお話ししてくださいました。このことから、定時総会において、故今野先生の思いを少しでも叶えたいと思い理事に立候補させていただきました。今年度の目標は故今野会長のお考えに沿って『全医師会員参加型のチーム医療による地域医療体制のさらなる発展』となりました。喫緊の課題として、新型コロナの対応が大変急がれております。検査なしでは、経済活動というのが円満にいくとは思いません。行政を含めて、様々な方々との協力が必要だという認識を持っております。是非、皆さんで一つになってやることは、やはり力は出ますし、周りに対する説得力も大きいですので、是非とも、ご協力をお願いしたいという思いです」とのお話でした。

そうした中、行政の支援のもと北見医師会が運営主体となり、8月26日「北見市PCR検査センター」が開設されました。

今後も吉田会長の指導力のもと医師会会員がワンチームとなって、さらに住みよい地域になるよう活動を進めていただきたいと思っております。

北見医師会副会長 木村 輝雄

新型コロナウイルス感染症関連情報

新型コロナウイルス感染症に関する日本医師会からの通知等は、北海道医師会ホームページ「医師の皆様へ—感染症情報」に掲載しています。

URL : <http://www.hokkaido.med.or.jp/doctor/infection.html>